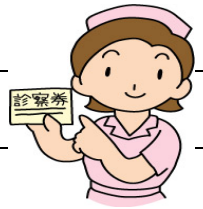
大腸EMRを受けられる患者さんへ

患者氏名：　　さん　　主治医名：　　担当医名：　　受け持ち看護師名：

月日（日時）	／	／		／
経過（病日等）	入院	検査当日（検査前）	手術前日	退院
達成目標	検査の必要性を理解できる 前処置を理解できる	嘔気、嘔吐がない ふらつきがない 前処置により便に浮遊物がなくなる （観便シートで5の状態）	下血がない → 腹痛がない →	退院後の食生活での注意点がわかる 退院後の排便状況の観察点がわかる
治療・薬剤 （点滴・内服）	持参した薬を確認します（抗凝固作用のある薬剤の有無） 21：00頃に下剤（ピコスルファートナトリウム１本）を内服してください	10：00頃ガスモチンを内服後、ムーベン2Lを2時間ほどで飲んでください。 トイレまで間に合いそうにない時はポータブルトイレを準備します。看護師に相談してください 便の性状を看護師が確認しますので、便にモロモロとした浮遊物がなくなればトイレからナースコールを押してください 便を見て看護師が確認します 便の浮遊物がなくならないときは浣腸をします 病棟で点滴を（　　）時ころから行います	処置後、点滴があります 	朝、点滴がある場合があります
検査・処置	採血検査を行います 心電図検査を行います 腹部レントゲン検査を行います	処置は午後から1階の透視室で行います 処置は順番に行われます。呼ばれましたら看護師と一緒に透視室へいきます	処置後はふらつきが出現する場合がありますので車いすで帰ります	朝、採血検査を行います
活動 安静度	病院内は自由です	病院内は自由です	病棟内安静です	医師の許可後、病院内自由です
食事	普通食 （刺激物を避けた消化のよい食事）	朝食・昼食は絶食です（水・お茶は可）	夕食から普通食が始まります	普通食
清潔	入浴ができます 	入浴ができます	温かいタオルで体を拭くことができます	
排泄		トイレまで間に合いそうにない時はポータブルトイレを準備します。看護師に相談してください		
患者様及び ご家族への説明 生活指導 服薬指導	主治医より検査や治療に関して説明があります 入院診療計画書・同意書・問診票の記入をして下さい 前立腺肥大・緑内障・心臓病の既往のある方は看護師に知らせてください 	下剤内服中、気分不良や吐き気・ふらつき・腹痛などの症状があれば看護師に知らせてください 	処置後、下血・腹痛・吐き気などの症状があれば看護師に知らせてください 出血がないか便の色を観察してください	採血結果により退院できるかどうか主治医が判断します。 退院後、次回の診察日まででも、下血（便が黒い・赤い）、腹痛などがあるときは早めに受診してください 刺激物（辛い物やコーヒーなど）やアルコール類は避けてください 検査のために中止している薬について説明します 退院は午前中です。会計終了後に診察券、内服薬(処方されている場合)をお渡しします。午後に退院を希望の方は早めに看護師に相談してください

注1　病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2　入院期間については現時点で予想される期間です。

神戸医療センター消化器科　2012. 7改訂